

高尾山4コマ漫画その30
「ツチガエルくとヒキガエルさん」の巻
作・画：ばん

私、アズマヒキガエルのオタマジャクシ、オタ子。これから不思議と驚きに満ちたこの世界を探検するわー

これ以上、巨大な先達！

ツチガエル

巨大な先達！

あれから三年、オタ子は先達になりましよ。

あれから三年、オタ子は先達になりましよ。

※ツチガエルのオタマジャクシは冬を越して80mm程度になることがあるが、アズマヒキガエルは30mm程度。成体ではアズマヒキガエルが150mm以上に育つものもいるが、ツチガエルは30~80mm程度。

季刊高尾ビジターセンターニュースレター「のぶすま」2014年春号Vol.38
高尾ビジターセンター自然解説員作成
2014年4月27日発行
所在地：〒193-0844東京都八王子市高尾町2176
電話：042-664-7872 FAX：042-662-9926
URL：<http://www2.ocn.ne.jp/~takao-vc/>
(カラー版最新号を閲覧できます)

春のひとこと
新緑がとってもきれいな季節です。登る時は一息ついて上を見上げてみては。

解説員坂本がオススメする
季節のみどころ

4月 マムシグサの花
ヘビが大口を開けているように見えるのでマムシグサと呼ばれます。歩いているとそっぽを向いているものが多い気がするのですが、意外とシャイなのかも!?
※小仏城山〜景信付近で見られることがあります

5月 キビタキの鳴き声
5月は野鳥のさえずりの季節。特にキビタキは美しく大きな声でさえずります。鳴き初めに「キヨシ」と叫ぶように聞こえるのですが、私だけ?(ヒロシでも可)

6月 クスサンの幼虫
クスサン、というガの幼虫が道端を歩いていることがあります。緑がかかった白い毛がふさふさと生えた大きな幼虫です。毒はありません。ちなみにクスサンまでが名前なので、丁寧に呼ぶならクスサンさんです。

ビジターセンター通信

【参加者募集】
6月1日(日)
自然教室「春のさえずりハイキング」
春は、野鳥のさえずりを聞くベストシーズン! さえずりをいくつか覚えたい方、ハイキングの楽しみを広げたい方、スタッフと一緒にさえずりを聞きながら高尾山を登りませんか。
申込締切：平成26年5月16日(金)
往復はがき、メールでの応募となります。
ホームページ、またはお電話でご確認ください。

【行事報告】
3月16日(日)
初心者向け 地図を使おう ~in高尾~
「地図を読む楽しみを知った。」
「コンパスの使い方がよく分かった。早速購入したい。」
などといった感想がありました。楽しく安全に登山するために、地図が読め、コンパスを使えるとよいことを実感していただけたようです。

カエルに会える!?

カエルは、東京都内で河川や田んぼの減少に伴い、どんどん数が減っているといわれています。都内に生息する9種のカエルすべてが都のレッドデータブックに載っています。しかし!!そんな東京都内でも高尾山には9種のカエルがすべて生息しているのです!

高尾山カエル図鑑

()は体の大きさ

種類	特徴と鳴き声は?	どんな卵? どんどころに産む?
アズマヒキガエル (43~162mm)	・体が比較的大きい 「クッククッククック ググググググ」	水中 卵はひも状
ヤマアカガエル(35~78mm)	・角ばっている 「クココココクココココク」	水中 卵はかたまりになっている
ニホンアカガエル (35~75mm)	・背中ラインがヤマアカガエルと比べぼぼまっすぐに伸びている 「キュッキュッキュツ」	水中 岩の上 卵はかたまりになっている。岩の中で交尾・産卵するのでめったに見ることがない
タゴガエル (30~59mm)	・夏場は体が丸みを帯びている 「ゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴ」 「ゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴ」	木の上 水際の土の中 卵はあわ状
モリアオガエル (40~80mm)	・夏場は体が丸みを帯びている 「ゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴ」 「ゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴ」	水際の土の中 卵はあわ状
シュレーゲルアオガエル (30~55mm)	・夏場は体が丸みを帯びている 「ゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴ」 「ゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴ」	水際の土の中 卵はあわ状
カジカガエル (オス:40mm /メス:85mm)	・体が平たい 「フィフィフィ フィフィ」	流れのある水中 卵は一つのかたまりが50mm四方くらい
ツチガエル (30~60mm)	・いぼいぼとした背中 イボガエルとも呼ばれたり 「ギューギュー ギューギュー」	水中 卵は水草にからめて産む
ニホンアマガエル (20~45mm)	・カエル界のアイドル 壁に張り付いたりできる 「クエクエ クエクエ」	水中 卵はばらばらと流れてどこかにつく

※この三種そっくり

※この二種そっくり

季刊高尾ビジターセンターニュースレター

のぶすま

2014年春号 Vol.38

「のぶすま」とは、ムササビの古く呼び名です。
高尾山に住む人気者のムササビにあやかっつて、「のぶすま」とつけました。

※レッドデータブック...東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)をまとめた本

高尾山カエル探しルポ

オタマジャクシは水のあるところで成長します。そのため、お母さんカエルは水辺に卵を産もうとします。つまり、限られたカエルの産卵場所を知っていれば、だれでもカエルやオタマジャクシや卵を見れるチャンスがあるということ。今回は産卵場所の他に、解説員が見かけたカエル情報を集めてみました。ぜひカエルたちに会いに行ってみてください！



カエルがたくさん住める場所というのは、餌となる昆虫もたくさんいる自然豊かな場所ということ。また、カエルが卵を産む場所を見てみると、岩の中、木の上、田んぼ、池などと、いろいろな環境が多くのカエルが生息するために必要だということがわかりますね。皆さんもカエルの声を探しながら歩いてみては？